

会長メッセージ

令和2年10月28日

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会
会長 井戸 敏三
会長 松本 正義

東京2020オリンピック・パラリンピックの延期決定以降本日まで、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着くことを前提に、ワールドマスターズゲームズ2021 関西は、予定通り2021年5月開催の可能性を模索してまいりました。

【これまでの検討経緯】

多くのスポーツ大会が中止になる中で、アスリートやスポーツ愛好家の方々から本大会の開催に期待が寄せられました。私どもとしてもこうした期待に応えたく、厳しい感染状況の下で予定通り開催できる条件を、専門家も交えて検討した結果、万全の新型コロナウイルス感染症対策や入国規制の緩和といった2条件を満たすことで、競技の実施は可能ではないかと判断しました。

【2021年5月開催の課題】

しかしながら、この2条件の実現に向けたハードルはいまだ高く、現時点では運営できる体制を整えられるかどうかは見極められない。また、たとえこの体制が整えられたとしても、参加者の皆さまに厳しい制約を課すことになる可能性があり、ワールドマスターズゲームズの理念である、①スポーツ愛好家が世界中から集まり、生涯スポーツを楽しむこと②参加者どうし、参加者と地元住民が交流を楽しむこと③参加者が家族や友人とともに、ツーリズムを楽しむことと乖離する恐れがありました。

【延期の決定】

以上のことから開催自治体や、共催団体、競技団体、協賛企業、そして国際マスターズゲームズ協会（INGA）と慎重な議論を重ねました。結果として、10月28日にワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会理事会を開催し、開催時期として最も適切と考える時期への延期の方針を決定しました。11月4日のINGA（国際マスターズゲームズ協会）総会で提案することとしました。

【今後に向けて】

エントリーいただいた14,000名以上の方々にはご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、何よりも本大会に参加される皆さまに十分に配慮した対応ができるよう、必要事項を早急に決定し、速やかに発表いたします。また、これまで懸命に準備に取り組んでいただいた開催自治体、競技団体、協賛企業の皆さまにもご迷惑をおかけすることになりますが、共に連携して諸課題の解決に全力を注いでまいりたいと思います。

今後は、世界中のスポーツ愛好家の期待に応え、大会のレガシーを生涯スポーツの普及へとつなげていく「する」スポーツの祭典の成功をめざし、関係者一同、全力を尽くす所存です。

参加予定者へのメッセージ

令和2年10月28日

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西への参加をめざすみなさまへ

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会

当組織委員会会長のメッセージでお伝えしましたとおり、本大会の開催時期として最も適切と考える時期への延期の方針を決定いたしました。この間、本大会への参加を予定されているみなさまに大変不安な思いを抱かせることになったことを深くお詫び申し上げます。延期に伴う諸課題に対しまして早急に取り組み、できるかぎり早い時期に決定事項をお知らせしてまいります。

【延期による大会開催概要】

- 大会名称：ワールドマスターズゲームズ 2021 関西（現行のまま）
- 実施競技：35 競技 59 種目
- 目標人数：5 万人（国内 3 万人、国外 2 万人）

【大会へのエントリー】

競技別実施要項（開催場所、日時、年齢区分）については、早急に検討して公表し、再エントリーを開始します。

既エントリー者のお出場枠は確保し、ウェイティングリストに登録されている方は、登録していただいている状況を継続します。

【ボランティア】

既にボランティアに申し込んでいる方の登録を引き続き有効として、ご協力をお願いします。また、新規に申込される方の受付を当面の間継続します。

【宿泊および特別体験プラン】

当大会ホームページで案内している宿泊サイトおよび特別体験プランの予約は一旦停止します。予約を行った方はご自身でキャンセルしていただきますようお願いいたします。

予約の再開については、大会の再エントリー開始に合わせてご案内いたします。

新たなエントリーへの対応、宿泊サイトおよび特別体験プランにおける対応については、内容が決まり次第お知らせします。

その他の重要事項等については決定次第、速やかに公表してまいります。

ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

開催方針

1. 基本的な考え方

(1) 延期の決定について

①これまでの検討状況

多くのスポーツ大会が中止になる中で、本大会の開催に対するアスリートをはじめ多くの方々の期待に応えたく、厳しい感染状況の下で予定通り開催できる条件を、専門家も交えて検討してきた。

②2021年5月開催の課題

その結果、「入国規制の緩和」及び「万全の感染症対策」の2条件を満たすことで、競技実施そのものは可能ではないかと判断した。しかし、次の課題がある。

- この2条件の実現に向けたハードルはいまだ高く、現時点では運営できる体制を整えられるかどうかは見極められない。
- たとえ、この体制が整えられたとしても、以下のワールドマスターズゲームズの開催趣旨や理念と乖離する恐れがある。
 - ・スポーツ愛好家が世界中から集まり、生涯スポーツを楽しむこと。
 - ・参加者どうし、参加者と地元住民が交流を楽しむこと。
 - ・参加者が家族や友人とともに、ツーリズムを楽しむこと。

③10月8日の常任委員会での委員の意見

- 府県政令市の実行委員会をはじめ各委員より延期を要望する声が多数寄せられた。
- ・2021年5月開催の場合、59種目中27種目が実施できない。広域開催、経済活性化の効果という本来の目的も達成できない。
 - ・国内外から多くの参加が見込まれるが、医療体制に不安があり、地域住民の理解が得られない。

以上のことから、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催を、最も適切と考える時期へ延期する

(2) 開催期間の決定について

下記の事項を勘案し、今後IMGAとの調整を進めていく。

①オリンピックムーブメントの継承

- ・これまでワールドマスターズゲームズ2021関西は、「夏季オリンピックの翌年に同一開催国でワールドマスターズゲームズの開催を検討する」とのIOCとIMGAの覚書のもと、広報誘客活動をはじめとする諸準備を進めてきたこと。
- ・ワールドマスターズゲームズ2021関西のスローガンを、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を「みる」ことによって高まるスポーツの機運を、本大会での「する」スポーツにつなげるとしてきたこと。

②運営上の配慮（国内の各種競技会日程等への配慮）

開催日程については、国内の大規模スポーツ大会の年間計画を勘案し、各種スポーツ団体とも調整のうえで5月に決定した経緯があるため、現日程を基本としながら検討する必要があること。

③ワールドマスターズゲームズの理念の実現

海外から多数に参加いただき、スポーツとあわせて交流・ツーリズムを楽しむという大会理念を、より完全なかたちで実現できること。

2. 開催概要

(1) 大会名称：ワールドマスターズゲームズ 2021 関西

同一大会であることを認識いただくため、現行の名称のままとする。

(2) 実施競技：35 競技 59 種目

(3) 目標人数：5 万人（国内 3 万人、国外 2 万人）

(4) 再エントリーに必要な事項の決定 **年内を目途に決定**

①競技別実施要項の更新

（競技毎の日程・会場、競技における年齢基準、募集枠、競技内容）

②開閉会式の日程・会場

③大会参加料金（現行のまま）

[参考]

日本国内在住者：15,000 円（競技出場者）

日本国外在住者：24,000 円（競技出場者）

④既エントリー者への対応

既エントリー者の権利（出場枠）を維持する仕組みを構築する。

(5) ボランティア

既に申し込んでいる方の登録を引き続き有効とし、協力を依頼する。

(6) オープン競技の開催

当初の実施期間（2020 年 4 月 1 日～2021 年 8 月 31 日）を 1 年延長し、2022 年 8 月 31 日までとし、新たな競技の申請を受け付ける。（参考：10 月 28 日時点 33 競技）

(7) 広報誘客活動 **年内を目途に決定**

- ・効果的な PR となる節目を再設定する。
- ・新たなコミュニケーションメッセージを再構築する。

(8) 事業計画の見直し **年度内に決定**

競技、交流、観光、宿泊、交通、大会運営等の各事業の簡素化を図るなど、内容を再構築する。その際、新たな取組への対応など、延期に伴う追加コストを算定し、収入確保の対策についても検討を進める。

3. その他

世界選手権併催競技の調整

世界選手権併催による実施を予定していた以下の 3 競技については、延期後においても世界選手権として位置付けられるよう、IF 等関係団体と調整する。

（オリエンテーリング、アーチェリー（50 歳代）、ウエイトリフティング）

【 報道関係者からのお問い合わせ先 】

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会事務局 担当：吉田、中村、神渡

TEL：06-6446-2021 FAX：06-6445-8541 Mail：kansai-wmg@wmg2021.jp